

欧州自動車産業ニュース

No. 985

2025年6月27日号



コンチネンタル、半導体設計の新組織設立 米GFと提携し供給網強化へ

メルセデスベンツ、アマゾンから約5000台のEV受注

ティッセンクルップ、自動車部門を再編

JLR、座席試験にクーカのロボット導入

© European Community

* PDFファイルでご覧の方は左のパレットの「しおり」を開き、見たいタイトルを選択して下さい。

■注意■

1. 本誌の使用は、お申込み登録いただいた住所の事業所内及びE-Mailアドレスに限り、他への配布・回覧・転送を固く禁じます。
2. 本誌のご利用によって生じたトラブル・損失・損害に関し、当社は一切の責任を負いません。

FBC Business Consulting GmbH August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M. (Germany)
Tel : 069-5480950, Fax : 069-54809525, E-mail : fbc@fbc.de, <http://www.fbc.de>

Rechtsform: GmbH Sitz: Frankfurt am Main HRB 44664 Geschäftsführer: Susumu Fujita

総合

EU新車販売、5月は1.6%増加..... 4

企業情報

自動車メーカー

メルセデスベンツ、アマゾンから約5000台のEV受注..... 7
ボルボ、車内で「アビーロード」再現・音響システムに新モード追加..... 8
シトロエン、英LCV市場で低価格戦略・3万ポンド未満の商用車4車種投入..... 9

部品メーカー

独コンチネンタル、半導体設計・開発の新組織を設立..... 10
ティessenクルップ、自動車部門を再編..... 11
ブレンボ、MTBダウンヒル競技に初参戦..... 11

クローズアップ

EV.OS..... 12

欧州自動車短信

イベコ・バス、ベルトラント、ノースボルト..... 13

一般・その他

EUの国境炭素税規制緩和、加盟国と欧州議会が合意	14
ロシア産ガス輸入を27年末までに禁止、欧州委が法案を発表	14
EU防衛産業の規制緩和、欧州委が提案	15
アリエクスプレスがデジタルサービス法違反、欧州委が暫定認定	15
中国製医療機器、500万ユーロ以上はEU公共調達から締め出し	15

テクノロジー・トレンド

JLR、座席試験にクーカのロボット導入	16
フォルヴィア、牡蠣殻入り内装材「NAFILean Vision」量産へ	17

目で見える欧州自動車産業ニュース

欧州連合(EU)、新車登録:乗用車、燃料別 2025年5月	18~19
-------------------------------------	-------

企業名索引.....17

欧州経済を伝える



FBCでは、読者の皆様と一緒に誌面作りに取り組むと考えております。
お気づきの点や率直なご意見・ご感想など、弊社カスタマーサポートまで
ぜひお気軽にお寄せください。

< FBCカスタマーサポート >

Tel : +49-(0)69-5480950 Email: info@fbc.de

FBC Business Consulting GmbH
August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M/Germany

<http://www.fbc.de>

総合

EU 新車販売、5月は1.6%増加

欧州自動車工業会（ACEA）は6月25日、欧州連合（EU）の5月の乗用車新車販売（新車登録）が92万6,582台となり、前年同月に比べ1.6%増加したと発表した。1～5月の累計は、前年同期比0.6%減の456万6,970台だった。

1～5月の燃料別の累計登録台数は、電気自動車が前年同期比26.1%増の70万1,089台となり、市場シェアを15.4%（前年同期：12.1%）に拡大した。EUの主要4市場のうち、ドイツ（43.2%増）、ベルギー（26.7%増）、オランダ（6.7%増）の3カ国では前年同月を上回ったが、フランスは7.1%の減少だった。

ハイブリッド車は、前年同期比19.8%増の160万1,090台となり、市場シェアを35.1%（前年同期：29.1%）に拡大した。プラグインハイブリッド車は前年同期比15.0%増の37万5,182台で、市場シェアは8.2%（前年同期：7.1%）だった。

内燃エンジン車は、2ケタの減少率となっており、ガソリン車は前年同期比20.2%減の130万5,525台で、市場シェアは28.6%（前年同期：35.6%）。ディーゼル車は前年同期比26.6%減の43万3,462台で、市場シェアは9.5%（前年同期：12.9%）に縮小している。

■ EU 31カ国、5月は1.9%増加

ACEAによると、EU27カ国にアイスランド、ノルウェー、スイスおよび英国を加えた欧州31カ国の5月の新車登録は、前年同月比1.9%増の111万3,194台だった。1～5月の新車登録の累計は、前年同期比0.1%増の557万2,458台となっている。

（次頁の表参照、
燃料別のグラフは【目で見える欧州自動車産業ニュース】18～19頁に掲載）

必要な情報を収集します

30年間で培った「600件以上の調査実績」

各種調査はFBCにお任せください



新車登録：国別動向

国	2025年	前年同月比 (%)	2025年	前年同期比 (%)
	5月		1～5月	
オーストリア	24,311	22.7	115,183	10.3
ベルギー	34,338	-11.7	193,089	-9.7
ブルガリア	3,857	19.7	19,472	2.9
クロアチア	8,791	3.1	33,006	5.7
キプロス	1,328	2.1	6,875	-6.8
チェコ	19,519	-1.1	100,431	3.7
デンマーク	17,952	23.3	70,509	5.6
エストニア	1,411	-25.9	4,607	-44.9
フィンランド	6,851	-12.0	29,802	-8.0
フランス	123,918	-12.3	672,699	-8.2
ドイツ	239,297	1.2	1,146,596	-2.4
ギリシャ	15,670	13.9	63,515	-0.6
ハンガリー	10,899	14.3	54,588	5.7
アイルランド	5,821	-9.1	79,310	2.4
イタリア	139,484	-0.1	722,704	-0.5
ラトビア	2,149	27.8	8,993	26.8
リトアニア	4,092	43.8	17,067	42.4
ルクセンブルク	4,058	5.5	21,091	1.5
マルタ	677	3.6	2,594	-23.7
オランダ	30,188	7.3	148,610	-6.0
ポーランド	46,641	6.8	235,724	4.0
ポルトガル	23,545	18.6	100,842	4.8
ルーマニア	10,521	-32.7	54,209	-12.8
スロバキア	7,651	4.9	36,350	-5.3
スロベニア	5,118	5.2	24,982	6.1
スペイン	112,820	18.6	490,711	13.6
スウェーデン	25,675	2.3	113,411	6.1
EU合計	926,582	1.6	4,566,970	-0.6
アイスランド	2,313	49.6	6,120	41.0
ノルウェー	14,260	39.1	57,142	32.8
スイス	19,969	-6.1	91,323	-7.3
EFTA	36,542	10.5	154,585	5.9
英国	150,070	1.6	850,903	2.8
EU+EFTA+UK	1,113,194	1.9	5,572,458	0.1

出所：各国自工会；ACEA

新車登録：メーカー別動向(EU)

	5月				1~5月			
	シェア(%) ⁽¹⁾		台数	変動率 25/24(%)	シェア(%) ⁽¹⁾		台数	変動率 25/24(%)
	2025年	2024年			2025年	2024年		
VWグループ	28.5	27.6	263,787	4.8	27.4	26.0	1,249,382	4.8
フォルクスワーゲン	11.8	11.6	109,620	3.5	11.4	10.6	520,027	6.7
シュコダ	6.7	5.9	62,466	16.9	6.3	5.9	287,866	6.7
アウディ	4.9	5.1	45,489	-2.2	4.8	4.7	217,167	-0.4
クブラ	2.4	1.9	22,682	31.3	2.4	1.6	108,594	47.7
セアト	1.8	2.3	16,770	-21.6	1.8	2.2	81,922	-19.3
ボルシェ	0.7	0.7	6,110	-7.8	0.7	0.9	30,833	-22.3
その他(2)	0.1	0.1	650	15.2	0.1	0.1	2,973	11.3
ステランティス	16.2	17.4	150,310	-5.2	16.5	18.2	751,897	-10.0
プジョー	5.5	5.3	50,783	4.8	5.7	5.6	259,131	1.3
シトロエン	3.3	3.3	30,555	1.4	3.2	3.6	147,729	-10.6
オペル/ボクソール	2.9	3.4	26,689	-14.2	2.7	3.3	122,408	-18.2
フィアット(アバルトを含む)	2.5	3.0	23,468	-13.0	2.6	3.3	120,516	-19.5
ジープ	1.1	1.2	10,443	-5.1	1.2	1.2	55,024	0.4
アルファロメオ	0.5	0.4	4,716	25.8	0.6	0.4	26,509	33.5
DS	0.3	0.3	2,582	-7.7	0.3	0.4	13,156	-22.7
ランチア/クライスラー	0.1	0.4	763	-80.2	0.1	0.4	5,620	-72.8
その他 ⁽³⁾	0.0	0.1	311	-34.1	0.0	0.1	1,804	-25.2
ルノー・グループ	11.0	10.8	102,039	4.0	11.3	10.6	517,241	6.6
ルノー	5.9	6.3	55,074	-4.4	6.2	5.6	281,368	10.0
ダチア	5.0	4.4	46,351	15.5	5.1	5.0	232,490	1.9
アルピーヌ	0.1	0.0	614	87.2	0.1	0.0	3,383	128.9
トヨタ・グループ	8.2	8.5	76,407	-1.9	8.5	9.0	388,815	-6.2
トヨタ	7.5	7.9	69,671	-3.2	7.8	8.4	356,110	-7.8
レクサス	0.7	0.6	6,736	14.2	0.7	0.6	32,705	16.0
現代グループ	7.6	8.1	69,979	-4.7	7.5	7.9	343,720	-5.6
現代	4.0	4.2	36,764	-3.1	3.8	4.0	174,506	-5.6
起亜	3.6	3.9	33,215	-6.4	3.7	3.9	169,214	-5.7
BMWグループ	6.8	6.4	63,226	8.1	6.8	6.5	309,868	3.9
BMW	5.9	5.7	54,513	4.6	5.8	5.7	265,174	2.1
ミニ	0.9	0.7	8,713	37.5	1.0	0.8	44,694	16.1
メルセデスベンツ	5.2	5.1	47,901	3.9	5.0	5.1	226,990	-2.8
メルセデス	5.1	4.8	47,183	7.7	4.9	4.8	223,366	0.5
スマート	0.1	0.3	718	-68.7	0.1	0.2	3,624	-67.8
フォード	2.9	3.0	26,794	-0.4	2.9	3.0	133,919	-2.0
ボルボ	2.3	2.9	21,093	-20.3	2.3	2.8	103,862	-19.0
日産	1.5	1.6	13,985	-4.7	2.1	2.1	97,194	-0.1
上海汽車集団(SAIC MOTOR)	2.0	1.5	18,716	38.0	1.9	1.3	88,475	49.1
スズキ	1.3	1.6	12,084	-15.5	1.5	1.7	68,067	-14.9
テスラ	0.9	1.6	8,729	-40.5	1.1	2.0	50,413	-45.2
マツダ	1.0	1.4	8,915	-27.6	1.1	1.3	48,928	-19.0
ジャガー・ランドローバー	0.5	0.7	4,489	-24.4	0.6	0.6	25,343	-11.8
ランドローバー	0.5	0.6	4,385	-19.2	0.5	0.6	24,418	-5.1
ジャガー	0.0	0.1	104	-79.7	0.0	0.1	925	-69.1
三菱自	0.4	0.5	3,929	-14.5	0.4	0.6	20,347	-31.4
ホンダ	0.4	0.3	3,478	14.9	0.4	0.4	18,718	6.3

(1)ACEA推定値

(2)VWグループ：その他にはベントレー、プガッティ、ランボルギーニ、MANが含まれる。

(3)ステランティス：その他にはダッジ、マセラティ、RAMが含まれる。

出所：ACEA加盟企業；ACEA

<AI22890>

企業情報

■自動車メーカー■

メルセデスベンツ、アマゾンから約 5000 台の EV 受注

独自動車大手のメルセデスベンツは6月24日、アマゾンから電気自動車 (EV) 約 5,000 台を受注したと発表した。受注したのは、中型バン「e ヴィトー」と大型バン「e スプリンター」の2モデル。アマゾンは2000年にすでに1,800台超のEVバン（「e ヴィトー」、「e スプリンター」）をメルセデスベンツから調達している。

今回受注した車両は、今後数カ月以内に、欧州5カ国のアマゾンの配送パートナーに納車する予定。うち、ドイツの配送パートナー向けが2,500台以上を占めている。

「e ヴィトー」は、スペインのビトリア工場から、アマゾンの配送パートナーに供給する。当該モデルは、1回のフル充電で最大480キロメートル (WLTPモード) を走行できる。

「e スプリンター」は、ドイツのデュッセルドルフ工場生産する。当該モデルの航続距離は最大484キロメートル (WLTPモード)。内装は、認定ボディービルダーが荷物整理用の特注棚と運転席へのスライドドア付き間仕切り壁を装備する。



出所: Mercedes-Benz

<AI22891>

ボルボ、車内で「アビーロード」再現・音響システムに新モード追加

スウェーデンの自動車大手ボルボ・カーは6月17日、同社の電動フラッグシップモデル「EX90」と「ES90」に、高音質オーディオモード「アビーロード・スタジオモード (Abbey Road Studios Mode)」を導入したと発表した。英ロンドンにある伝説的な録音施設「アビーロード・スタジオ」の音響特性を再現するもので、オプションの「バウワース・アンド・ウィルキンス・ハイファイ・オーディオシステム (Bowers & Wilkins High Fidelity Audio system)」を装備した車両で利用することができる。ソフトウェアの無線更新 (OTA) によって提供される。

このモードは、アビーロード・スタジオと英オーディオ機器メーカーのバウワース・アンド・ウィルキンスが共同開発した。ユーザーが音響を自ら調整できる「プロデューサー・モード」など、多彩な機能を備えている。

EX90は25個のスピーカーを車内に配置し、臨場感ある音響空間を実現。バウワース・アンド・ウィルキンス製システムとの組み合わせにより、コンサートホールのようなサウンド体験を提供するとしている。ビートルズの録音でも知られるアビーロード・スタジオの世界観を、車内で手軽に楽しめることを狙う。



出所: Volvo Cars

<AI22892>

秘書に代わって

CLIPPING SERVICE

欲しい情報だけを収集します

シトロエン、英 LCV 市場で低価格戦略・3 万ポンド未満の商用車 4 車種投入

欧州自動車大手ステランティス傘下の仏シトロエンは6月20日、英国市場における小型商用車 (LCV) ラインナップで、販売価格が3万ポンド未満となるモデルが4車種になると発表した。対象は新型「ベルランゴ・バン」、「ディスパッチ」、小型EV「e-C3」、および「アミ100%エレクトリック」で、価格競争が激化する英国の LCV 市場において、コスト重視のユーザー層を狙う戦略とみられる。

中でも最も価格の低いモデルは「アミ100%エレクトリック」で、カーゴ仕様の販売価格は7,954ポンド。都市部のラストマイル配送向けに開発されたモデルで、6kWの電動モーターと5.4kWhのバッテリーを搭載する。最高時速は約45km/h、最大航続距離は約74kmで、積載容量は200リットル。

新型「e-C3」は1万5,035ポンドで、バッテリー容量は44kWh、航続距離は約323km。100kWのDC急速充電を使えば、20%から80%までを26分で充電できる。

ベルランゴ・バンは2万1,545ポンドで、荷室サイズは3.3㎡と3.8㎡の2タイプ。EV版「e-ベルランゴ」は2万5,455ポンドで、航続距離は約342km、急速充電(100kW)で30分の充電が可能。

ディスパッチは2万8,040ポンドで、荷室は5.3㎡、最大積載量は1,182kg。さらに大型モデル「リレイ」「e-リレイ」も展開中で、パネルバン仕様のリレイは3万1,505ポンドからとなっている。

<AI22893>

FBCのロングリスト調査は



- ① 貴社の案件に合う対象企業をヨーロッパ全土から探します
- ② 全ての企業に貴社のプレゼン資料を送付
- ③ その後メール・電話で興味の有無を1件1件確認します

新たな**ビジネスパートナー**を探します

FBCのショートリスト調査は



- ① ロングリスト調査の結果、興味・関心を示した企業の担当者を割り出します
- ② 当該企業の主な取引先や競合他社などのデータも入手します
- ③ ショートリストとして提出します

このデータをもとに**即営業を開始**できます

■部品メーカー■

独コンチネタル、半導体設計・開発の新組織を設立

独自動車部品大手のコンチネタルは6月23日、半導体の設計と開発に特化した新組織「AESS (Advanced Electronics & Semiconductor Solutions)」をオートモーティブ部門内に設立したと発表した。製造は、米半導体受託製造大手のグローバルファウンドリーズ (GF) に委託する。これにより、ソフトウェア定義型車両 (SDV) などで増加する半導体需要に対応し、半導体の安定供給を確保するとともに、技術的な自立により競争力を強化する。

新組織 AESS は、年内に分離・上場 (スピンオフ) を予定しているオートモーティブ部門 (新会社「Aumovio (アウモヴィオ)」) の一部として設立する。AESS はファブレス (工場を持たない) 形態で設計・検証を行い、GF に生産を委託する。

AESS 設立の背景には、世界的に進む自動車の電動化・高度化に伴い、半導体需要が急増している現状がある。コンチネタルは、AESS の設立により、半導体供給の地政学リスクを軽減するとともに、半導体分野での自立性を高める意向。

GF は米国、欧州、アジアに製造拠点をもち、自動車、モノのインターネット (IoT)、通信インフラなど多様な分野に半導体を供給している。



出所:Continental

<AI22894>

news clipping
キーワードに沿って欲しい業界情報だけを収集します

[詳しくはこちら](#)

ティッセンクルップ、自動車部門を再編

独複合企業のティッセンクルップは6月24日、自動車部門オートモーティブ・テクノロジーを2025年10月1日付で4つの事業ユニットに再編成すると発表した。これにより、自動車の電動化や中国市場の需要拡大などに対応し、収益性の高い成長を目指す。

オートモーティブ・テクノロジーは、2023 / 24年度の売上高で75億ユーロを計上した。従業員数は約3万1,600人。今回の再編により、シャシー、コンポーネント、アフターマーケット、鍛造の4つの事業ユニットに注力する。

なお、「オートモーティブ・ボディ・ソリューションズ」、「オートメーション・エンジニアリング」、「スプリング&スタビライザーズ」の3事業は、新体制に統合せず、引き続き独立運営していく。これらの事業については、提携や売却を含む新たな事業展開の可能性を検討している。

オートモーティブ・テクノロジーは今年3月、厳しい市場環境に対応するためのグローバル効率化プログラムを発表した。今回の再編はその次の一手であり、自動車業界が構造変化を遂げる中で、柔軟かつ持続可能な成長に向けた基盤を構築する。

<AI22895>

ブレンボ、MTB ダウンヒル競技に初参戦

伊ブレーキ大手ブレンボは6月18日、国際自転車競技連合（UCI）主催のマウンテンバイク（MTB）レースシリーズ「UCI MTB ワールドシリーズ」のダウンヒル競技に初参戦すると発表した。米スポーツバイクブランドのスペシャライズド・バイシクルズと提携し、同社の「グラビティ・チーム」にブレーキシステムを供給する。

ブレンボが提供するブレーキは、シリンダー径9mmのアキシャル式マスターシリンダーに加え、レバー比・リーチ・フリーストロークを個別に調整できる3点調整機構を搭載。ライダーの好みに応じてブレーキフィールを細かくカスタマイズできる。加えて、ピストン径18mmの独立型アルミピストン4個を備えるポストマウントキャリパーと組み合わせ、高い制動力と信頼性を実現している。ローターはブレーキ面を拡大し、放熱性能を向上させた。

さらに、ブレンボ傘下でスウェーデンの高級サスペンションメーカーであるオーリンズがサスペンションを担当。ブレンボにとってのデビュー戦は、6月20日から22日にかけて伊ヴァル・ディ・ソレで開催されるレースとなる。自動車分野で培った技術力を、MTB競技にも応用する狙いだ。

<AI22896>





EV.OS

独自動車部品大手コンチネンタルの子会社で車載器組込ソフトなどを供給しているエレクトロビット (EB) は6月25日、台湾の電子機器大手、鴻海精密工業 (フォックスコン) と次世代の電気自動車 (EV) に向けた AI を中核とするソフトウェア・プラットフォーム「EV.OS」について共同開発契約 (JDA) を締結したと発表した。これにより、ソフトウェア定義型車両 (SDV) の普及促進を目指す。

「EV.OS」は、ソフトウェアとハードウェアを統合した柔軟性の高いプラットフォームで、E/Eアーキテクチャ (EV.EEA)、EVオペレーティングシステム (OS)、EVアプリケーションなどが含まれる。

エレクトロビットのマリア・アンハルト最高経営責任者 (CEO) は今回の協力について、「エレクトロビットの自動車ソフトウェアに関する専門知識と、フォックスコンの製造およびハードウェアイノベーションを組み合わせることで、複雑さを軽減し、開発サイクルを短縮し、将来のモビリティビジネスモデルをサポートする、スケーラブルなプラットフォームを構築する」とコメントしている。



出所: Elektrobit

欧州自動車短信

■ 伊商用車大手の**イベコ・バス**は6月18日、ベルギー・フランダース地方の公共交通機関である De Lijn から接続式の電気バス「E-WAY」(座席数: 41)を100台、受注したと発表した。2026年第4四半期に納車を開始する予定。今回の受注は、2023年に締結した枠組み合意の一環で、現在、納車中の全長18メートルの電気バス「E-WAY」141台に加わるものとなる。De Lijnは、フランダース全域で2035年までに安全で信頼性が高く、排出ガスゼロの公共交通機関となる目標を掲げている。

■ 独技術開発サービス会社の**ベルトラント**は6月24日、スウェーデン乗用車大手のボルボ・カーの戦略的サプライヤーに選出されたと発表した。ベルトラントは経営戦略の重要な要素として、国際的なプレゼンスの強化を進めている。今回の協力については、自動車業界の技術革新を推進し、持続可能で安全な未来に大きく貢献するという、両社の共通の価値観に基づいている、と説明している。

■ 3月にスウェーデンで破産を申請した同国の電池メーカー、**ノースボルト**に最初の買収提案が提示されたようだ。管財人のミカエル・クブ氏は同国のラジオ放送局SRに対し、国外の投資家であると明らかにした。スウェーデンの工場と開発センター、ドイツのシュレースヴィヒ・ホルシュタイン州のハイデに建設予定のバッテリー工場に関心を示しているもよう。なお、拘束力を持たない提案であり、今後、交渉を進めていく方針を示している。

<AI22897>

ヨーロッパで

ビジネスパートナーを探したい…



>>> FBCにお任せください！

私たちはロングリスト・ショートリスト調査を通して
みなさまの欧州戦略を強力にサポートしています
欧州に攻め込むための最新の営業リストを作成します

一般・その他

EUの国境炭素税規制緩和、加盟国と欧州議会が合意

欧州連合（EU）加盟国と欧州議会の代表は6月18日、気候変動対策が不十分な国からの輸入品に事実上の関税をかけるEUの「炭素国境調整措置（CBAM）」の規制を緩和する案について合意した。これによって中小企業がCBAMの対象外となる。

国境炭素税と称されるCBAMは、EU域内の事業者が鉄鋼、アルミニウムなど対象となる製品を域外から輸入する際、域内で生産した場合にEU排出量取引制度に基づいて課される炭素価格に相当する支払いを義務付けるというもの。2026年1月から本格的に導入される。

欧州委員会は2月、EU企業の環境規制対応への負担を軽減する政策の一環として、CBAM製品の輸入が年間50トン以下の中小企業をCBAMの対象外とすることを提案していた。これによって域内輸入業者の約90%が適用外となる。

同案は欧州議会が5月に承認済み。加盟国も承認したことで、規制緩和が決まった。

<AI22898>

ロシア産ガス輸入を27年末までに禁止、欧州委が法案を発表

欧州委員会は6月17日、欧州連合（EU）がロシア産の天然ガスの輸入を2027年末までに禁止する法案を発表した。ロシアへのエネルギー依存から脱却する戦略に沿ったもので、段階的に禁止する。

禁止されるのはパイプライン経由で輸入する天然ガスと、タンカー経由の液化天然ガス。新規の契約は2026年1月1日に禁止となる。既存の短期契約は26年6月17日まで、長期契約は27年末までに打ち切る。ロシア産ガスをパイプラインで輸入している内陸国は、27年末まで輸入を認められる。

EUはロシアが2022年2月にウクライナへの軍事侵攻を開始したのを機に、ロシアへのエネルギー依存から脱却する戦略を進めている。

天然ガスについては、エネルギー分野におけるロシア依存からの脱却と持続可能なエネルギーの安定供給に向けた計画案「リパワーEU」を欧州委が22年5月に発表し、27年末までに輸入を停止する方針を打ち出していた。

原油の輸入も27年末までに禁止する。EU加盟国はロシア産のガス、原油への依存を完全に断ち切るための計画をEUに提示することが求められる。

同法案はEU加盟国、欧州議会の承認が必要となる。欧州委はロシア産化石燃料への依存度が高いハンガリーとスロバキアが反対することを見越し、加盟国による採決では人口に応じて票数を割り当てる特定多数決制度を採用し、全会一致でなくても承認されるようにする。

<AI22899>

EU 防衛産業の規制緩和、欧州委が提案

欧州委員会は6月17日、欧州連合（EU）の防衛産業に対する規制緩和を提案した。EUがロシアの軍事的脅威に対抗するため再軍備を進める計画に沿ったもので、防衛関連プロジェクトの許認可手続きなどを簡素化する。

規制緩和は武器などを製造する防衛企業への投資を促進するのが狙い。関連プロジェクトを認可するまでの期間を60日以内とし、現在の数年間から大幅に短縮する。このほか、防衛企業の合併・買収（M&A）、環境規制も緩和する。EU加盟国と欧州議会の承認を経て正式決定となる。

<AI22900>

アリエクスプレスがデジタルサービス法違反、欧州委が暫定認定

欧州委員会は6月18日、中国の電子商取引大手アリババ傘下の通販サイト「アリエクスプレス」が欧州連合（EU）のデジタルサービス法（DSA）に違反している疑いがあるとして調査している問題で、違反があるという暫定調査結果を発表した。

DSAでは偽情報、ヘイトスピーチ、著作権侵害動画、児童ポルノといった違法コンテンツや、模造品や海賊版など違法商品の削除を義務付けている。アリババなど巨大IT企業には、特に厳格に適用される。

欧州委は2023年11月、アリエクスプレスが偽造薬や認可されていない食品、サプリメントの販売や、ポルノ流通に関わっている疑いがあるとして、情報提供を要請。この情報を分析した結果、DSA違反の疑いが強まったとして、24年3月に正式調査を開始した。

暫定調査では、アリエクスプレスが違法商品流通のリスクを軽視し、十分な対応を講じていないと判断。さらに、違法コンテンツを配信する事業者に罰金を科すシステムが十分に機能していないことなども問題視し、同社がDSAに違反していると認定した。

一方、欧州委はアリエクスプレスが是正措置を提示し、これを受け入れたことを明らかにした。欧州委は是正措置が適正に実行されているかどうかなどを見極めながら、最終調査結果をまとめる。最終的に違反と認定すれば、年間売上高の最大6%に相当する巨額の制裁金を科すことができる。

<AI22901>

中国製医療機器、500万ユーロ以上はEU公共調達から締め出し

欧州委員会は6月20日、欧州連合（EU）の「国際調達措置（IPI）」規則に基づき、中国製医療機器のEU公共調達市場へのアクセスを制限すると正式発表した。EU加盟国が実施する医療機器の公共調達入札で、500万ユーロ以上の案件については中国企業を締め出す。

欧州委は2024年4月、中国政府が医療機器の公共調達で国内メーカーを優遇し、EU企業による落札を難しくしている疑いがあるとして、調査を開始。今年1月に中国がEU企業を差別していると結論付け、IPIに沿った対抗措置を講じると発表していた。

2022年に施行されたIPIは、公共調達市場における公平な競争条件の確保が目的。保護主義的な貿易政策を進める中国などを念頭に、域外国の公共調達市場でEU企業に対して制限的もしくは差別的な扱いが認められた場合、欧州委が当該国の企業に対し、EU側の公共調達市場へのアクセスを制限できるようにするというものだ。

IPIが適用されるのは初めて。同措置をめぐっては、EU加盟国が6月初めに承認していたが、詳細は非公表だった。500万ユーロ以上の案件に適用することは、初めて公式に発表された。

非中国企業が応札する場合も、調達品に占める中国製部品の割合が50%を超えると締め出す。

<AI22902>



テクノロジー・トレンド

技術大国ドイツを中心に
注目の技術情報を集めています。

JLR、座席試験にクーカのロボット導入

英高級車メーカーのジャガー・ランドローバー（JLR）は6月17日、座席の耐久性や快適性を検証するため、独クーカ（KUKA）のロボット試験システム「オキュボット（Occubots）」を導入していると発表した。英ゲイドンのエンジニアリングセンターでは、4台の専用ロボットが稼働し、約5日間で10年分の使用状況をシミュレーションする。

オキュボットは乗員が座席に座る動作や体のひねりなどを再現するもので、試験期間中に最大800N（約82キログラム）の力を2万5,000回にわたって加えることで、様々な体格や体重の乗員の使用状況を模擬できる。あわせて、シートヒーターの耐久試験も行い、25日間でスライドやねじりといった動作を通じて、350～700Nの力を2万回加え、機能維持を確認する。

JLRは2024年10月から11月にかけて、英米独中のプレミアムSUVオーナー計2,008人を対象にオンライン調査を実施。その結果、車購入時に快適性と利便性が最重視されていることが明らかになったという。今回のロボット試験導入は、そうしたユーザーの期待に応えるための開発体制強化の一環とみられる。



出所：Jaguar Land Rover

<AI22903>

フォルヴィア、牡蠣殻入り内装材「NAFILean Vision」量産へ

欧州自動車部品大手フォルヴィアは6月19日、仏子会社マテリアクト (MATERI'ACT) が開発したバイオ複合素材「NAFILean」の新製品「NAFILean Vision」の量産開始を発表した。高い質感と美観を備え、インテリアの中でも視認性の高い部位への使用を想定している。

NAFILean Vision は、再生プラスチックに麻、木材、牡蠣殻などのバイオマス素材を最大 25%配合しており、独自の着色技術を組み合わせることで、自動車メーカーのカラーマテリアルフィニッシュ (CMF) 要件にも対応している。ライフサイクルアセスメント (LCA) を通じて、温室効果ガスの排出量を最大 75%削減できるといふ。

マテリアクトは2023年4月、海岸への投棄が懸念される「オーシャンバウンドプラスチック (OBP)」と牡蠣殻を組み合わせた NAFILean Vision のコンセプトを公開。複数の自動車 OEM から高評価を得たことを受け、量産化に踏み切った。素材が持つ独特の濃紺色は、牡蠣殻の微粒子に由来する。フォルヴィアは今後も持続可能な素材開発を通じて、自動車業界の環境負荷低減に貢献していく方針だ。

<AI22904>

■企業名索引

今週号のニュースで取り上げられた主な企業を対象としています。

Index

企業名	掲載頁	
Bertrandt	13	Jaguar Land Rover..... 16
Brembo	11	Mercedes-Benz..... 7
Citroen	9	Northvolt
Continental.....	10	thyssenkrupp Automotive Technology
Elektrobit	12 11
Forvia.....	17	Volvo Cars..... 8
IVECO BUS	13	

サービスいろいろ

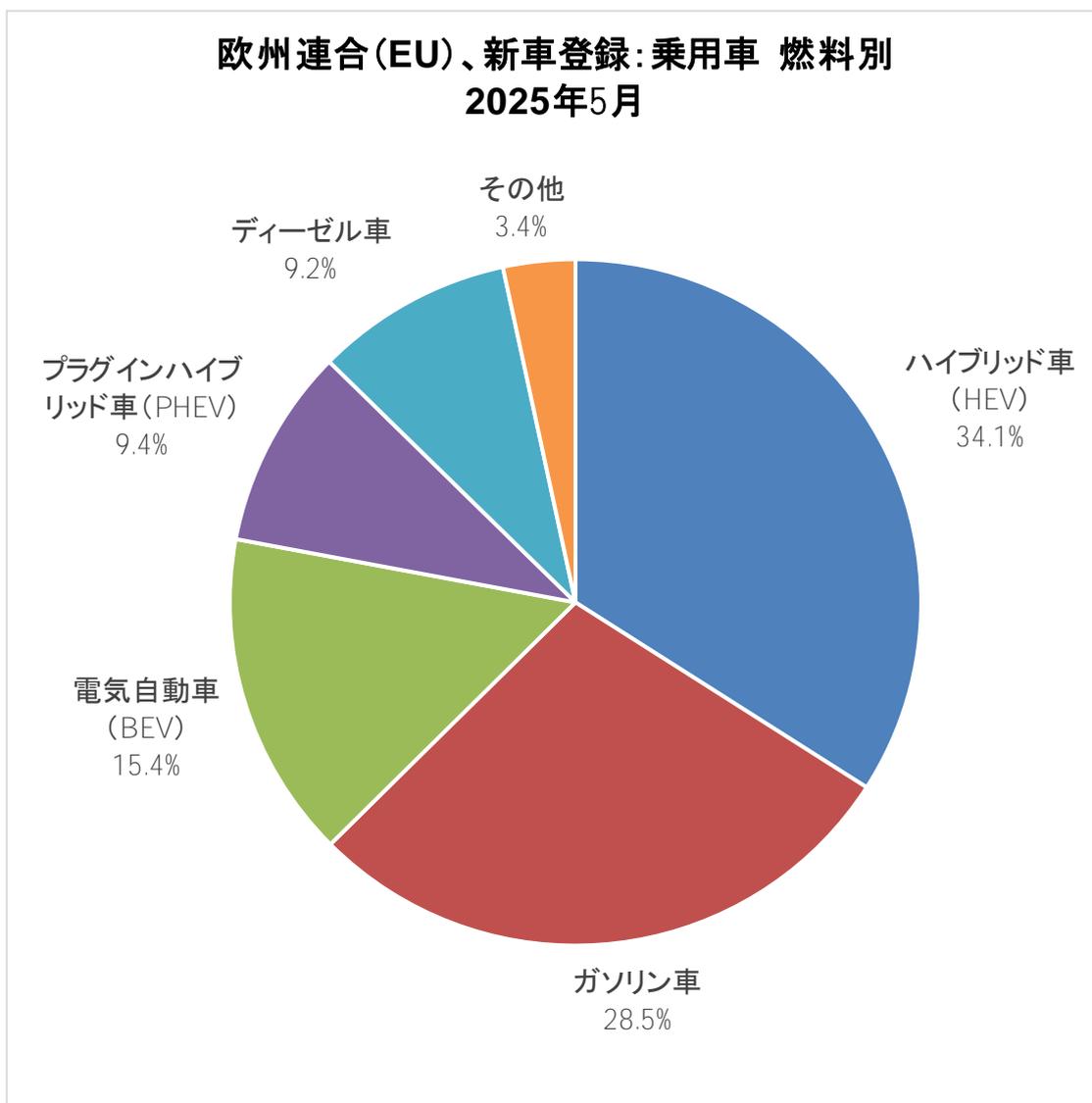
欧州進出・現地業務をサポートいたします

欧州活動のコーディネイト・業務出張アシスト・調査業務・駐在事務所代行も

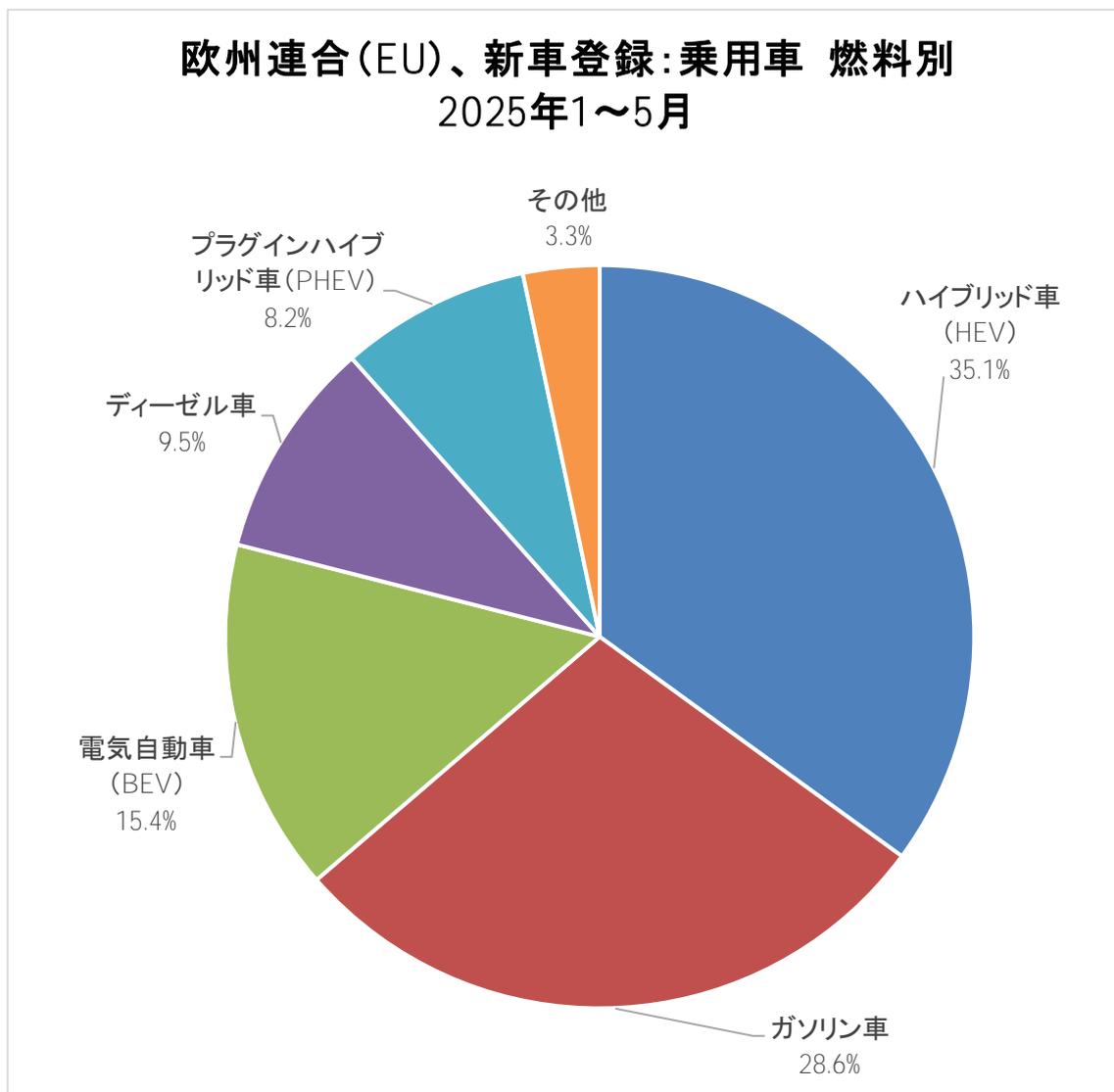


目で見る欧州自動車産業ニュース

欧州連合(EU)、新車登録:乗用車、燃料別 2025年5月



出所: 各国自工会; ACEA



出所:各国自工会;ACEA

<AI22905>